

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和 2 年 7月 7日 愛 知 県 知 事 殿 提出者 住 所 愛知県碧南市松本町36番地2 氏 名 親和建設株式会社 代表取締役 新美慶太郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号0566-41-3505 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	親和建設 株式会社
事 業 場 の 所 在 地	愛知県碧南市松本町36番地2
計 画 期 間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	06:総合工事業
②事 業 の 規 模	元請完成工事高：934,766千円
③従 業 員 数	24人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類…中間処理業者に委託して再生アスコン又は再生路盤材に再資源化 汚泥…中間処理業者に委託して砂に再資源化 金属くず…中間処理業者に委託して製鋼原料として再資源化 木くず…中間処理業者に委託して製紙原料・燃料に再資源化 ガラス陶磁器くず…中間処理業者からの委託で骨材、路盤材に再資源化 廃プラスチック類…中間処理業者からの委託で再生原料等に再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 廃棄物処理総括責任者 総務部 各工事現場管理責任者		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（平成31年/令和1年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1による
	排出量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1による
	排出量	
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くず・廃プラ・がれき類・石膏ボード・金属くず・木くずは分別して保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き現在の取組を継続して行う。	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成31/令和1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成31年/令和1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成31年/令和1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成31年/令和1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	全 処 理 委 託 量	別紙2による	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) _____		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙 2 による	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙 1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現 状	前年度(平成 31 年/令和 1 年度)実績											
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	建設汚泥	金属くず	木くず	紙くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	混合 (管理型含む)	石綿含有 産業廃棄物
	排出量(t)	150.566	796.39	185.00	116.545	22.16	11.99	0.18	5.915	4.77	25.27	1.17
	これまでに実施した取組み											
	がれき類・金属くず・木くず…排出の抑制は難しいが、分別して再生して処理業者に依頼し、再生品目の利用に努力している。 廃プラスチック…材料等の梱包材の簡素化している ガラス・陶器くず…解体工事でガラス、瓦は手作業で行っている 汚泥…現場でできるだけ水分を抜いてから搬出している 紙くず…裏紙の使用を徹底したり、紙の種類を分別して、再生品目の利用に努力している。											
計 画	目標											
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	建設汚泥	金属くず	木くず	紙くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	混合 (管理型含む)	石綿含有 産業廃棄物
	排出量(t)	100	650	100	100	10	10	0	5	0	15	0
	今後実施する予定の取組み											
	工事量により、排出量に差は出てくるが、前年度は目標を下回ることができたので、今年度は1000tを超えないように目標をたてる。											

別紙 2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現 状	前年度(平成 31 年/令和 1 年度)実績											
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき 類	建設汚泥	金属くず	木くず	紙くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	混合 (管理型含む)	石綿含有 産業廃棄物
	全処理委託量(t)	150.56	796.39	185.00	116.545	22.16	11.99	0.18	5.915	4.77	25.27	1.17
	優良認定業者への 処理委託量(t)	4.44	0	0	0	0	11.99	0.18	4.27	4.77	25.27	1.17
	再生利用業者への 処理委託量(t)	150.56	796.39	185.00	116.545	22.16	11.99	0.18	4.27	4.77	25.27	1.17
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
これまでに実施した取組み												
再生利用業者へ処理委託を行っている												
計 画	目標											
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき 類	建設汚泥	金属くず	木くず	紙くず	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	混合 (管理型含む)	石綿含有 産業廃棄物
	全処理委託量(t)	100	650	100	100	10	10	0	5	0	15	0
	優良認定業者への 処理委託量(t)	5	0	0	0	5	10	0	5	0	15	0
	再生利用業者への 処理委託量(t)	100	650	100	1	10	10	0	5	0	15	0
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今後実施する予定の取組み												
今まで以上に再生利用業者への処理委託を行う 優良認定業者へ優先的に委託を行う												